

**特大容量タンク搭載ビジネス向けインクジェットプリンター “GX5030” を発売  
低ランニングコストと印刷機能に特化したコンパクト設計を実現**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」搭載のビジネス向けインクジェットプリンター「GX シリーズ」の新製品として、カラーインクジェットプリンター “GX5030” を2022年3月中旬に発売します。



GX5030

ビジネス文書などを大量印刷する際、コストを抑えながら高画質に印刷したいというニーズが高まっています。また、物流・小売り・医療などの業種においては、ラベル・帳票・POP・薬袋などの多様な用紙への対応とともに、限られた業務スペースに設置できるコンパクトな本体サイズが求められています。新製品は、印刷機能に特化し、設置場所を選ばない小型化を実現するとともに、ユーザーの期待に応える低ランニングコストと高い生産性、多様な用紙への対応を実現し、さまざまなビジネスを支援します。

**■ A4 モノクロ文書が約 0.8 円／ページで印刷できる低ランニングコストを実現**

「GIGA TANK」の搭載により、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.8 円（税込み）<sup>※1</sup>、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円（税込み）<sup>※1</sup>を実現しています。また、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ<sup>※2</sup>、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページ<sup>※2</sup>の大量印刷が可能です。

**■ コンパクト設計や多様な用紙への対応などにより幅広いビジネスシーンで活躍**

同シリーズの「GX6030」（2021年5月発売）と比べ本体の高さを約 16mm 小型化<sup>※3</sup>し、店舗の収納棚や受付内のフットスペースなど、より限られたスペースへの設置も容易です。また、全色で顔料インクを採用しているほか、窓付き封筒やポスター、ラベル用紙などの多様な用紙にも対応し、1 台でさまざまな制作物を印刷できます。さらに、ウェブアプリケーション「PosterArtist<sup>※4</sup>」を利用することで、デザイン性の高いポスターやチラシなどを簡単に作成し印刷可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
GX5030	オープン価格	2022年3月中旬

※1 普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」<一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定>に従い記載。測定環境の詳細は、キヤノンホームページ参照。  
 ※2 エコノミーモード時。標準モード時はブラック約 6,000 ページ、カラー約 14,000 ページ。印字可能枚数は、A4 カラー文書 ISO/IEC 24712 を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2 回目以降に充填するインクボトルを使用して算出。  
 ※3 収納時のサイズは “GX5030” は約 399（幅）×416（奥行き）×238（高さ）mm。「GX6030」は約 399（幅）×410（奥行き）×254（高さ）mm。  
 ※4 URL : <https://posterartist.canon>（2022年3月7日公開予定）

●一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0067  
 ●ビジネスインクジェットプリンターホームページ : [canon.jp/bij](http://canon.jp/bij)

## <主な特長>

### 1. A4 モノクロ文書が約 0.8 円／ページで印刷できる低ランニングコストを実現

- ・特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.8 円（税込み）、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円（税込み）の低ランニングコストを実現。
- ・ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページと、「GIGA TANK」搭載モデルの中で最大枚数の印刷が可能。
- ・A4 モノクロ文書で毎分約 24.0 枚※、A4 カラー文書で毎分約 15.5 枚※の高速印刷を実現。オフィスでの大量印刷はもちろん、接客窓口や受付などの速やかな印刷が求められるビジネスシーンにも好適。
- ・メンテナンスカートリッジ（別売り）は本体背面からユーザー自身で交換可能。また、本体前面の窓からインク残量や用紙の積載状態を確認できるため、インクや用紙を事前に準備でき、突然のインク切れや用紙切れを防止。印刷停止時間を削減し、短いダウンタイムで印刷再開が可能。
- ・前面給紙カセットには A4 普通紙を最大 250 枚積載可能。大量給紙が可能で、用紙補充の手間を低減。さらに、背面給紙トレイには A4 普通紙を最大 100 枚積載できるだけでなく、多様な用紙の給紙にも対応。



メンテナンスカートリッジは  
本体背面からユーザー自身で  
交換可能

※ 普通紙への文書印刷速度は ISO/IEC 24734 のオフィスカテゴリテストによる片面印刷 ESAT (Estimated Saturated Throughput) の平均値です。

### 2. コンパクト設計や多様な用紙への対応などにより幅広いビジネスシーンで活躍

- ・GX シリーズのインクジェット複合機「GX6030」から本体の高さを約 16mm コンパクト化。店舗の収納棚や受付内のフットスペースなど、より限られたスペースにも設置可能。
- ・全色で顔料インクを採用。小さな文字でもくっきりと印刷できるほか、両面印刷時にも印刷濃度を下げることなく裏写りの少ない鮮明な印刷が可能。さらに、印字部にマーカーを引いてもにじみにくく※<sup>1</sup>、こすれにも強いいため、書き込みや保管することが多いビジネス文書に好適。
- ・印刷部が水に濡れてもにじみにくい顔料インクの特長により、飲食店や食品小売りのメニューやバナーなどの印刷にも好適。
- ・多様な用紙に対応。ダイレクトメール用の窓付き封筒や店頭掲示用の光沢紙、長尺紙※<sup>2</sup>のポスター、ラベル紙などのさまざまな制作物を 1 台で印刷可能。



受付内のフットスペースへの  
設置イメージ



制作物イメージ（窓付き封筒／長尺紙ポスター／光沢紙ポスター）

- ウェブアプリケーション「PosterArtist」(無償)を利用することで、直感的な操作で簡単にデザイン性の高いポスターやチラシなどを作成し印刷可能。作りたいものや使う場所、目的に合わせてトップ画面からデザインテンプレートが選択可能。また、デザインイメージが固まっていない場合でも、ポスター制作を支援する「オートデザイン」により、「飲食」「オープニング」などのカテゴリーを選びタイトルや画像などを入力するだけで、複数のカスタムデザイン案を自動的に作成、提案。さらに、外部のストックフォトサービスが無料で提供している写真を簡単に検索できる機能を搭載することで、デザインの幅が拡大。



PosterArtist トップ画面

- ※1 用紙や制作物の使用環境などによってはにじむ場合があります。
- ※2 長尺紙の印刷は普通紙のみ。最大用紙サイズは約 216 (幅) × 1,200 (長さ) mm。

### 3. 業務効率化や管理コスト低減に貢献するさまざまな機能

- 不正アクセスや情報漏えいのリスクを低減するセキュリティ機能を搭載。強固なセキュリティ対策が可能な無線 LAN の認証方式である WPA2 エンタープライズに対応するなど、セキュリティが重視されるビジネスの現場におけるニーズに対応。
- 印刷工程の最後に熱による定着を必要としないインクジェット方式で印刷。消費電力が少なく※1、環境負荷低減に貢献。
- インクボトルをインクタンクの注入口に挿すだけでインクの注入が始まり、満量になると自動的に注入が停止することで、簡単にインク補充が可能。また、インクボトルとインクタンクの注入口の接合部分に、色ごとに異なる形状を採用することで、誤った色のインク注入を防止。
- 無料スマホアプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY※2」を使うことで、セットアップ手順をアプリが案内。スマホ画面のガイダンスに沿って操作していただくだけで、初めての方でも簡単にセットアップが完了。また、スマホやタブレット内の文書をワイヤレスで印刷できるほか、本アプリから「PIXUS クラウドリンク」を利用して、各種ストレージサービスや SNS などと連携し、これらの汎用 (はんよう) クラウドサービス上の文書を印刷することも可能。



インクの注ぎ過ぎを自動でストップ

- ※1 動作 (プリント) 時の消費電力は約 20 ワット、待機 (スリープ) 時の消費電力は約 0.8 ワット。
- ※2 別途ダウンロードが必要。

### <インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2021 年の出荷台数は国内では約 337 万台、全世界では約 5,861 万台でした※1。2022 年の出荷台数については国内では約 352 万台、全世界では約 5,652 万台と見込まれています※2。

- ※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2021Q3 Final Historical
- ※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker Forecast, 2021Q3 Forecast Release

### <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- \* 記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。